



学校だより

横浜市立末吉小学校

令和2年度

3月号



令和2年度を振り返って

学校長 本庄 則子



三寒四温という言葉がぴったりのこの頃、どのようなときでも季節は確実に移り変わると実感しております。今年度も最後の月を迎えました。様々なところでお世話になった方々、学校をあたたかく見守ってくださった方々、本校の教育活動に関わってくださっているすべてのみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年3月の学校だよりを読み返すと、このような1年になるとは想像もしておらず、花育の様子やブックママ・パパのおはなし会の様子を紹介していました。今年度は、地域の方々と花育を行うことはできませんが、5、6年生の環境委員会で3月に花を植える活動をするようになりました。花苗は、末吉小の後援会費で例年通り用意していただく予定です。また、対面での読み聞かせはできませんでしたが、学校のスタジオ等で収録した映像を教室で視聴するかたちで、ブックママ・パパによる「おはなし会」を開催できる運びとなりました。様々な工夫をしていただき、ありがとうございました。

幼・保・小の交流の取組も、緊急事態宣言中を避けて実施してきました。毎年1、2月に行っていた学校体験はできませんでしたが、現在、5年生が来年度入学してくる子どもたちに向けて、小学校の様子を紹介しようとがんばっています。3月初旬には、幼稚園や保育園に映像や本などをお届けしようと計画しています。

2月22日には、6年生が八景島シーパラダイスへ出かけました。二度も延期した後やっと日帰りで実施できた修学旅行です。換気のできるバスを使用し、昼食時はイルカショーなどが観覧できる広い場所で、学校と同じように話をせずお弁当をいただきました。天気にも恵まれ、水族館見学や乗り物、お土産の購入など、グループで協力し思い出に残る1日を過ごすことができました。「できない」としてしまふことは簡単ですが、安全や健康を守りながら「どうしたらできるのか」をさぐってきた令和2年度です。今後もこのスタンスを守りながら「かかわる・わかる・かがやく 末吉っ子」を育てていきたいと考えています。

6年生は、24日に末吉小を巣立ちます。今回も卒業証書授与式に来賓の方々にお越しいただくことはかないませんが、どうか地域の場で希望あふれる子どもたちに祝福と励ましをいただけましたら幸いです。

第66回全国青少年読書感想文コンクール 横浜地区審査会

3年生 増田 拓斗さんが、上記の審査会において、最優秀「毎日新聞社支局長賞」をいただきました。2月の表彰式が見合わせになったので、学校に表彰状等が届きましたら朝会で作品の紹介と表彰を行います。

